

常盤の松

富岡市立富岡中学校

TEL 0274-62-1741

Email tomi-jhs@tomioka.ed.jp

文責 校長 土屋 勇



集団回収、お世話になりました！

1月23日（土）、空模様が怪しい中でしたが、当初の予定を縮小した形で恒例のPTA 集団回収を行うことができました。保護者の皆様には、大変お世話になりました。

今回は生徒たちが自慢の力を発揮する場面がありませんでしたが、その分、保護者の皆様には前もって回収物の確保にご協力をいただきました。特に地区委員の方々には、下高田にある平野商店まで直接運び込むなどの無理を聞いていただき、本当にありがとうございました。

お陰様で今回の収益金は、合計60,322円となる予定です。コロナ対策をはじめ、校内の施設設備の充実のために活用させていただきます。お世話になりました。



生まれてきた命について考えました！

～2年生命を育む講座より～

2月2日（火）、2年生の立志関連行事の一つとして、県助産師会から講師をお迎えし、「命を育む講座」を行いました。コロナ感染が心配されましたが、講師の方をはじめ、生徒と職員が予防対策を徹底し、体育館で短時間で行いました。

講師の印象的な言葉は、「生きているだけで100点満点！」です。受精から出産、成長に至るまで、様々な試練を乗り越え、多くの偶然と奇跡を繰り返しながら、今ここにいる。この事実を噛みしめれば、「生きる」ということの尊さを痛感せざるを得ません。講師が繰り返し生徒たちに語っていました。「一人一人はすごい力を持っている、だから、自信をもっていろいろなことに挑戦してほしい。」生徒たちは多くを感じ取り、今後に生かしていくと思います。



立派な「誓い」でした！

～2年生立志式より～

2月3日（水）、恒例の立志式を行いました。回を数えて49回目になりました。コロナ感染拡大防止のため、保護者の出席ができません、1年生のみが見守っている中で実施しました。会場には事前に生徒一人一人が筆で書いた「立志の書」と自分が大切にしているものと言葉

を描いた絵手紙が展示されました。メインは2年生一人一人が将来に向けての誓いを述べる場面です。真剣に、堂々と、明確に自分の言葉で述べていました。その姿はとても立派で、とても頼もしく感じました。

校長からは、14歳の「自立」について話しました。正に気づき、考え、実行する経験を積むことで、自立につながるということです。また、今から80年程前に書かれた本「君たちはどう生きるか」についても触れました。実行しようと思っても一歩が出ないこともある。相当の勇気が必要なこともある。一人で無理なら仲間と実行することもできる。後悔してもよいが、同じ後悔をしないように努力していくことが大切だ。是非、今読んでほしい本の1冊です。

大人への一歩を踏み出した2年生たちの今後の活躍に期待したいと思います。

4月からここが変わります！

2月1日（月）、周囲が霜で覆われていましたが、体育館で朝礼を行いました。公立高校の前期試験を来週に控えていたので、3年生は参加せず、1、2年生だけの朝礼でした。

内容は、この4月から中学校が変わる、というものです。ご承知の通り、文科省が出している学習指導要領が大体10年に一度改定されていて、中学校は令和3年度がその年に当たります。これは日本全国一斉に実施されます。

4月から主に次の3点が変わるとい話をしました。一つ目は教科書です。最新の情報が豊富に含まれ、ページによってQRコードが載っていて、そこから授業が展開されます。特に今後のデジタル化を意識した内容が多くあり、各教科とも将来を具体的にイメージできるものになっています。

また、ご承知のように、生徒一人に1台ずつタブレットが与えられます。将来的にタブレットを活用した授業がどの教科でも実施されることとなります。教科書に載っているQRコードを各自のタブレットで読み取り、授業を進めることもあります。現在そのための環境を整えるための工事を行っています。

2つ目は授業です。生徒にしてみれば、今までの「教わる」から「考える」に変わります。教師や教科書から得た情報を基にどうしたらよいかを「考える」授業になります。隣の生徒と、グループで、ときには学級全体で自分の意見を言いながらよりよいものを考えていきます。このとき必要なことが、「アウトプット」です。これまでは頭に「インプット」すれば済んでいたことが、これからはインプットされたことを基に考え、自分の意見をしっかりと表現したり発表したりする「アウトプット」が大切になってきます。このような経験を授業の中でできるだけ多く行っていきます。

3つ目は通知表です。評価のしかたも変わります。各教科の観点が4つから3つになり、一つ一つの観点の幅が広がります。授業中にノートをしっかり取ったり、テストで高得点をとるだけでなく、大切なことは1時間1時間の授業をどう受けているかです。しっかり考えて発言しているか、アウトプットができているか、うまくいなくても粘り強く取り組んでいるか、などがポイントとなります。

最初は慣れないこともあると思いますが、我々職員も研修を積みながら、よりよい教育活動の実践を目指します。



表彰関係

・校内書き初め大会金賞

- 1年1組 新井ひなた、佐藤愛莉、高橋礼妃、濱田すみれ
- 1年2組 赤岡真優、黒岩琴乃、小間凜音、野口優里菜、三宅陽夏
- 2年1組 日野原駿、大久保桜、加瀬愛羅、田中和奏、和田七海
- 2年2組 今井虹空、石田志織、久保茜、瀬間結南、吉田まこも
- 3年1組 富田陽斗、下山史奈、鈴木笑香、月田菜々香、野村京花
- 3年2組 齋藤隼、赤岡莉実、新井うた、齋藤かのこ、竹田結愛、早川美羽、治田千穂

・社会を明るくする運動作文コンテスト

優秀賞 濱田すみれ 佳作 赤岡真優

